



ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

常総市

■市内小中学校で防災教育を実施

○R5年7月～11月に市内の小中学校（18校）で防災スポーツを実施

【実施内容】

・防災スポーツ…日常からスポーツを通して災害に備え、生き抜く力を備えるための防災学習。ゲーム感覚で楽しみながらも災害時に役立つノウハウを身に付け、防災意識向上、防災行動につなげていくイベント。

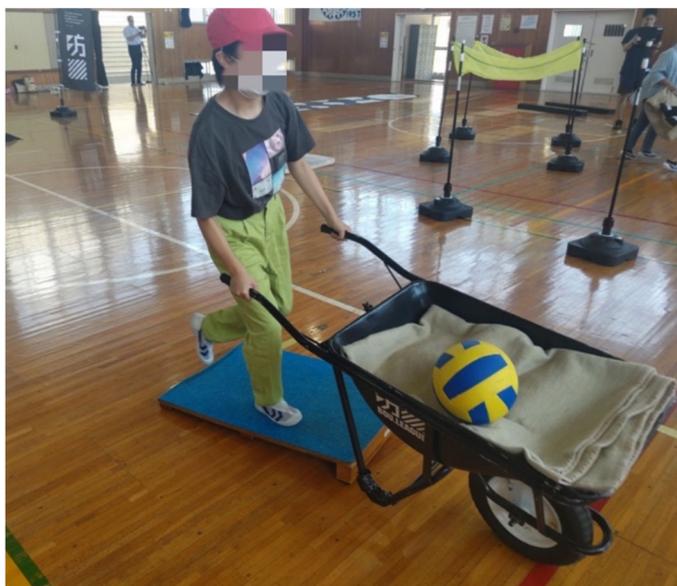


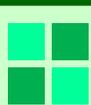
◆一輪車で物資搬送
小回りの利く一輪車の操作方法を身に付ける



◆毛布担架障害物
身の回りのもので担架を作り負傷者を搬送する

◆キャタピラ煙避難
低い姿勢で煙を吸い込まないように避難する





ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

小山市

令和5年度 防災体験学習

講話や体験活動を通して、子どもたちの防災への意識を高め、自分の命を守るとともに助け合い協力して活動することの大切さを学んでもらうことを目的に、過去に水害を受けた経験のある地域の小学校を会場に防災体験学習を実施した。

【期日】令和5年11月11日（土） 【会場】小山市立中小学校

【参加者】4～6年の希望する児童及び保護者 7名

【活動内容】 講師：小山市総務部危機管理課職員及び小山市教育委員会教育総務課職員

(1) 防災講話「災害から命を守るために
～災害時の対応と災害への備え～」

(3) 防災体験学習
★防災ダ・ズ・ン ★防災カードゲーム

(2) 避難所開設体験
★パーティション設置

(4) 非常食体験
★非常食の実食体験



避難所開設体験



防災体験学習



非常食体験



■小中学校における防災教育支援の実施

◆概要

市内に所在する小中学校の一部に対して、地域の災害特性、市の防災業務及び学校等における避難所用物品についての防災教育支援を実施した。

◆対象施設

6 か所（小学校 5 か所、中学校 1 か所）

◆教育形式

フィールドワーク（街歩き）、座学、実物見学等

◆成果及び今後の予定

令和4年度はコロナ禍であり4か所（小学校4か所）に留まったが、教育対象施設を拡充した。また、座学だけでなく防災士との交流や現地現物の活用により、教育効果の高い支援に繋がることのできた。引き続き、小中学校における防災教育に対する支援の拡充を目指す。

市役所職員による説明



防災士による教育補助



避難所物品の使用体験





ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

千代田町

■ 町立西小学校の学校公開に合わせた防災教育支援の実施

令和5年11月25日（土）、町立西小学校において学校公開に伴う防災教育支援（館林土木事務所・県河川課砂防課・千代田町）ということで、全学年を対象に防災教育を実施しました。写真上2枚が降雨体験を実施している様子。（低学年）下の写真2枚は避難所体験の様子。（高学年）避難所体験した子供たちからは、「災害が起きた際には、この体験を生かしたい。」との多くの意見がありました。





ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

千代田町

■ 昨年引き続き、小学生を対象とした避難所体験教室の実施

令和5年7月29日（土）～30日（日）の2日間、コスメ・ニスト千代田町プラザに於いて、小学生を対象とした「避難所体験教室」を実施しました。講師には昨年同様、群馬大学理工学府の金井教授とゼミ生が指導してくれました。付添いの父兄と子供たちは、初めての避難所体験ということで、真剣な面持ちで取り組んでいました。（写真左：避難所体験についての説明を受けている様子。写真右：パテーションにより仕切った各部屋の様子。）





■小学生を対象とした防災講座の実施

- 小学校4年生を対象とした防災に係る授業を実施。
- ハザードマップの説明や、防災倉庫内の資機材の解説、発電機の運転体験等を行った。
- 令和4年度においても同様の防災講座を実施していたが、令和5年度では小学校からの申し込みが増加したため、必然的に防災教育の実施対象となった生徒数が増加した。
- 事前学習を行っているためか、質疑応答の際にはペットとの同行避難や非常時の持ち出し品について等実災害を想定した質問が多くあがった。

実際の授業の様子
(鴻巣市立広田小学校)





■ 町内中学校で、防災学習会を実施

中学校の「総合的な学習の時間」を活用し、自らの学びの場であり、また、実際に避難所となる体育館で防災学習に取り組み、災害リスクを「我がこと」として捉えてもらった。当事者意識を醸成することで、この学習を家庭へ持ち帰り家族等と共有するとともに、高齢者などの避難行動等の支援の必要性も理解してもらった。いざという時に「地域の役に立つ」という意識を持ってもらうことができた。

「令和元年東日本台風」の際の町内の状況について河川敷や避難所の様子を写真で示し、併せて町の災害対応の動きも説明し、災害発生時にどう行動すればいいのか、考えてもらった。

講話 ① 自助・共助・公助・・・行政（公助）の限界と地域（自助・共助）の重要性

② 一人ひとりにできること・・・自分にできることは何か

③ 災害対応に正解はない・・・失敗を恐れず積極的に！

また、防災倉庫から備蓄品（パーテーション、段ボールベット）を運搬することから始め、実際に設置し、避難所開設を体験してもらった。

○実施日： 令和5年6月1日（木） 上里北中学校 第2学年：110人

令和5年9月12日（火） 上里中学校 第1学年：161人





ソフト対策 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

I) 防災教育や防災知識の普及

No.37 小中学生を対象とした防災教育の実施

蓮田市

■ 中学生に防災教育を実施

日時：令和5年9月9日（土）

場所：蓮田市立平野中学校

人数：1～3学年 83名

内容：防災倉庫の確認と備蓄資機材の使用方法を学ぶ

目的：平時の備えを学び、学校、家庭、地域の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。



開会式



校内に設置している防災倉庫



プライベートルームテント組み立て